

第 1 3 期

2024 年度(令和 6 年)事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日

一般財団法人森永エンゼル財団

【Ⅰ．事業活動の概要】

2024 年 3 月 15 日に開催された一般財団法人森永エンゼル財団第 24 回理事会において承認された事業計画に基づき、事業活動を実施した。

1．一般正味財産増減の部

科 目	予 算 額	決 算 額
経常収益	7,006 千円	7,551 千円
経常費用	30,600 千円	38,337 千円
評価損益等	0 千円	0 千円
当期経常増減額	△23,594 千円	△30,786 千円
経常外収益	20,000 千円	20,000 千円
経常外費用	0 千円	0 千円
当期経常外増減額	20,000 千円	20,000 千円
当期一般正味財産増減額	△3,594 千円	△10,786 千円

2．指定正味財産増減の部

科 目	予 算 額	決 算 額
投資有価証券運用益	0 千円	0 千円
定期預金運用益	5 千円	77 千円
評価損益等	0 千円	0 千円
一般正味財産への振替額	20,005 千円	20,077 千円
当期指定正味財産増減額	△20,000 千円	△20,000 千円

3．正味財産期末残高

	予 算 額	決 算 額
正味財産期末残高	149,248 千円	154,169 千円

4. 事業の実施内容

事業項目	実施内容
I. 余暇時代の生活文化に関する研究	1. エンゼルの「神の言葉を人間に伝達するメッセンジャー」としての側面に注目した関連・発展研究 人間本来の幸せの探求 ～持続可能な社会の実現に向けて探求する学びのあり方を研究 「探究的な学習」のプロセス研究と実践 開催日 2024 年 7 月 1 日、11 月 8 日 会 場 神奈川県横浜市鶴見区 横浜サイエンスフロンティア高等学校(YSFH) 講 師 利根川翔 教諭(理科) 内 容 高校 1 年生の授業「サイエンスリテラシー(SL) I」をテーマにした探究的な学習について、授業及び担当教諭へのインタビューを通して“探究のプロセス”を紹介していく。
II. 家族のあるべき姿に関する研究	1. 芸術の側面からの研究 (1)エンゼル美術ラボ 「アートを見る目 ～美術鑑賞のすすめ」 01 ゴッホ『ひまわり』編、02 北斎『神奈川沖浪裏』編、 03 モネ『睡蓮の池』編 を森永エンゼルカレッジ用に収録 公開日 2024 年 6 月 25 日、2025 年 1 月 7 日、3 月 31 日 会 場、講 師 01 SOMPO 美術館 上席学芸員 小林晶子 02 すみだ北斎美術館 主任学芸員 奥田敦子 03 ポーラ美術館 学芸課長 岩崎 余帆子 内 容 名画と言われる作品を通して、所蔵美術館の学芸員からその絵の見方・味わい方、作者の描いた時代背景などを学びながら鑑賞・研究し、さらにその魅力を探っていく。 (2)東北ユースオーケストラの活動 に協賛 開催日 2025 年 3 月 21 日 会 場 サントリーホール

Ⅲ．研究の 成 果 の 普 及 ・ 啓 発	<table><tr><td>主 催</td><td>一般社団法人東北ユースオーケストラ</td></tr><tr><td>内 容</td><td>震災後の 2011 年設立の「こどもの音楽再生基金」を きっかけに始まった、小学生から大学生までを団員 とする楽団「東北ユースオーケストラ」の活動に協 賛。</td></tr></table>	主 催	一般社団法人東北ユースオーケストラ	内 容	震災後の 2011 年設立の「こどもの音楽再生基金」を きっかけに始まった、小学生から大学生までを団員 とする楽団「東北ユースオーケストラ」の活動に協 賛。	
	主 催	一般社団法人東北ユースオーケストラ				
	内 容	震災後の 2011 年設立の「こどもの音楽再生基金」を きっかけに始まった、小学生から大学生までを団員 とする楽団「東北ユースオーケストラ」の活動に協 賛。				
	2．スポーツ研究					
	「萩原智子さんと北村先生との対談」～スポーツの魅力と社会との つながり～ を森永エンゼルカレッジ用に収録					
<table><tr><td>収録日</td><td>2024 年 7 月 18 日</td></tr><tr><td>講 師</td><td>萩原智子 元競泳日本代表 スポーツアドバイザー 東京都教育委員会委員 北村友人 東京大学大学院教育学研究科教授</td></tr><tr><td>内 容</td><td>選手時代の思いやエピソード、今のアスリート環境、 日本のパラスポーツの位置付け、などを交えながら、 スポーツの魅力と社会とのつながりを考える。</td></tr></table>	収録日	2024 年 7 月 18 日	講 師	萩原智子 元競泳日本代表 スポーツアドバイザー 東京都教育委員会委員 北村友人 東京大学大学院教育学研究科教授	内 容	選手時代の思いやエピソード、今のアスリート環境、 日本のパラスポーツの位置付け、などを交えながら、 スポーツの魅力と社会とのつながりを考える。
収録日	2024 年 7 月 18 日					
講 師	萩原智子 元競泳日本代表 スポーツアドバイザー 東京都教育委員会委員 北村友人 東京大学大学院教育学研究科教授					
内 容	選手時代の思いやエピソード、今のアスリート環境、 日本のパラスポーツの位置付け、などを交えながら、 スポーツの魅力と社会とのつながりを考える。					
3．食の研究						
エンゼル食ラボ うどん編 第 1 回 うどんの魅力「家庭の味から地 域おこしまで」、第 2 回 多様性の象徴「多様性と包容力に満ちてい る」を森永エンゼルカレッジ用に収録						
<table><tr><td>公開日</td><td>2025 年 3 月 28 日、30 日</td></tr><tr><td>講 師</td><td>小島和男 日本うどん学会理事 学習院大学文学部哲 学科教授</td></tr><tr><td>内 容</td><td>うどんを通して、その発祥と変遷・ブーム・だし文化・ ご当地と多様性、などに触れながら、日本の食文化を 紹介する。</td></tr></table>	公開日	2025 年 3 月 28 日、30 日	講 師	小島和男 日本うどん学会理事 学習院大学文学部哲 学科教授	内 容	うどんを通して、その発祥と変遷・ブーム・だし文化・ ご当地と多様性、などに触れながら、日本の食文化を 紹介する。
公開日	2025 年 3 月 28 日、30 日					
講 師	小島和男 日本うどん学会理事 学習院大学文学部哲 学科教授					
内 容	うどんを通して、その発祥と変遷・ブーム・だし文化・ ご当地と多様性、などに触れながら、日本の食文化を 紹介する。					
1．森永エンゼルカレッジの充実						
(1) 2024 年度は、下記のコンテンツを開発し、配信した。						
<table><tr><td>「探究的な学習」 第 2 回 地域探究×データサイエンス 活動レポート ～生徒たちの発表</td></tr></table>	「探究的な学習」 第 2 回 地域探究×データサイエンス 活動レポート ～生徒たちの発表					
「探究的な学習」 第 2 回 地域探究×データサイエンス 活動レポート ～生徒たちの発表						

	「探究的な学習」 第3回 サイエンスリテラシーⅠ
	エンゼル美術ラボ アートをみる目 01 ゴッホ 「ひまわり」編
	エンゼル美術ラボ アートをみる目 02 北斎 「神奈川沖浪裏」編
	エンゼル美術ラボ アートをみる目 03 モネ 「睡蓮の池」編
	スポーツ対談 山口香先生 スポーツの魅力と社会とのつながり
	スポーツ対談 萩原智子さん スポーツの魅力と社会とのつながり 2
	エンゼル食ラボ うどん編 第1回 うどんの魅力「家庭の味から地域おこしまで」
	エンゼル食ラボ うどん編 第2回 多様性の象徴「多様性と包容力に満ちている」
	被災地の子どもたちを応援する活動 「活動レポート」更新

(2) アーカイブズを構築し(財団史資料のデータベース化)、都度見直しと更新を行った。

2. 研究成果の普及啓発方法の研究、実践、展開

(1) Google リスティング広告(8/30～9/20)…「探究的な学習」と「アートをみる目 ゴッホ ひまわり」訴求、X(旧 Twitter:8/30～9/22)…「源氏物語」コンテンツへ誘引、YouTube(3/17～31)…「アートをみる目 北斎 神奈川沖浪裏」広告配信。新規ユーザーへのアプローチと獲得、及びアクセス大幅増を図った。

(2) 森永製菓グループと森永乳業グループの役員・従業員からの寄付金で、森永エンゼル財団が企画協力した『森の絵本』を、福島と輪島の保育園・幼稚園で全3回、被災地の子どもたちに計87冊をプレゼントした。(累計 9,157 冊)

【Ⅱ．庶務事項の概要】

1．会議に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2024 年 6 月 6 日 (第 13 回 定時評議員会)	1. [報告事項] 2023 年度(令和 5 年) 事業報告に関する件 2. [報告事項] 2023 年度(令和 5 年) 公益目的支出計画実施報告に関する件 3. [決議事項] 2023 年度(令和 5 年) 収支決算に関する件 4. [決議事項] 理事・監事選任の件 5. [決議事項] 評議員選任の件	原案通り可決 2024 年 6 月 6 日開催の定時評議員会で任期を終了する理事 7 名と監事の後任の、理事 7 名と監事を選任した。 2024 年 6 月 6 日開催の定時評議員会で任期を終了する評議員 3 名の後任の、評議員 3 名を選任した。

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2024 年 6 月 6 日 (第 25 回 通常理事会)	[決議事項] 1. 2023 年度(令和 5 年)事業報告に関する件 2. 2023 年度(令和 5 年)収支決算に関する件 3. 2023 年度(令和 5 年)公益目的支出計画実施報告に関する件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決

2024 年 6 月 6 日	[決議事項] 三役(理事長、副理事長、専務理事)選定の件	原案通り可決(書面にて)
2025 年 3 月 31 日 (第 26 回 通常理事会)	[決議事項] 1. 2025 年度事業計画に関する件 2. 2025 年度収支予算に関する件 3. 森永製菓との 2025 年度における 利益相反取引の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決

2. 登記に関する事項

登 記 日	登 記 事 項
2024 年(令和 6 年) 6 月 17 日	評議員、理事、監事についての登記事項変更

3. 届出等に関する事項

届 出 日	届出先	提出事項
2024 年(令和 6 年) 6 月 19 日	内閣総理大臣	公益目的支出計画実施報告書等の提出

4. 寄付金に関する事項

森永製菓株式会社から 5,000,000 円、森永グループ役員・従業員の方から 2,446,000 円の寄付金が寄せられました。

5. 評議員・理事・監事に関する事項

	常勤	非常勤	計	定数
評議員	0	3	3	3名以上 8名以内
理 事	0	7	7	5名以上 10名以内
監 事	0	1	1	2名以内

2025(令和7)年3月31日現在

財団役職名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	現 職
評議員	高木 哲也	非常勤	2022(R4)年6月16日	森永製菓株式会社 取締役上席執行役員
評議員	牛田麻衣子	非常勤	2024(R6)年6月17日	森永製菓株式会社 コーポレートコミュニケーション部 社会貢献グループマネジャー
評議員	大塚 幸稔	非常勤	2024(R6)年6月17日	森永乳業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当部長兼SCグループ長
理 事 長 (代表理事)	太田栄二郎	非常勤	2020(R2)年6月22日	森永製菓株式会社 代表取締役社長
副理事長	大貫 陽一	非常勤	2024(R6)年6月17日	森永乳業株式会社 代表取締役社長
専務理事	西宮 正	非常勤	2020(R2)年6月22日	関東学園大学 教授
理 事	蟹江 憲史	非常勤	2020(R2)年6月22日	慶應義塾大学大学院 教授
理 事	川本 敏	非常勤	2012(H24)年4月1日	日本経済研究センター特別会員
理 事	北村 友人	非常勤	2020(R2)年6月22日	東京大学大学院 教授
理 事	柴田奈津子	非常勤	2022(R4)年6月16日	森永製菓株式会社 コーポレートコミュニケーション部長
監 事	福永 俊朗	非常勤	2023(R5)年6月8日	森永製菓株式会社 常勤監査役

以 上